

比内支援学校 タブレット型端末 (iPad) 授業活用事例
小学部の実践

○事例 1

小学部 6 年 特別活動 (集会への参加)

○実態

集会や行事など集団で集まるときに体育館に入れないことがある。苦手な音が鳴るか
もしれない不安や長い時間話を聞いていることが苦手である。

○使用機器 iPad mini 2 2 台
無線 LAN ルーター

○アプリ

	Skype (スカイプ) は、無料で高品質のビデオ通話などができるソフトウェアである。無線 LAN 環境、端末ごと初期設定でのユーザー登録、使用の際はログインする必要がある。
---	---

○活用の目的

テレビ電話として音声や映像を通して体育館の様子を中継することで、離れた場所で活動の様子を見ながら間接的に集会等に参加することが可能になる。



夏休み明けから数回実施した。↑

○メリット

- ・タブレット端末の画面をじっと見ながら、会次第に合わせて「校歌斉唱」とまねて話すこともあり、集会の雰囲気を楽しんでいた。
- ・タブレット端末に興味を示し、自分から画面に触れて操作しようとする様子が見られ、長い時間集中して活動に取り組めた。

●デメリット

- ・別室中継になるため集団参加への目標達成に向けた活用期間の見極め、子どもにとっての必要性を検討する必要がある。
- ・インターネットのできる環境と中継するための人手が必要になる。特に、建物による電波の遮断、映像や音声の乱れ等のトラブルが起こる場合がある。